

米国 リステリア菌リスクで有機ブルーベリーを自主回収

[FreshFruitPortal](#) 2025年7月3日(7月4日更新)

米国食品医薬品局(FDA)は、アルマパックインターナショナル社の数百点の冷凍有機ブルーベリーがリステリア菌(*Listeria monocytogenes*)の汚染検査で陽性となった件に関し、クラス I のリスク警告(後述)を発出した。同社は、リステリア菌に汚染されている可能性がある冷凍有機ブルーベリー400箱(30ポンド(13.6kg)/箱)を自主回収したと発表した。

アルマパック社は自主回収を発表する声明で、「影響を受けた冷凍品は小売市場に到達する前に完全に回収され、その結果、消費者に販売された製品はなく、公衆衛生へのリスクはなかった」としている。同社はまた、FDA、ジョージア州農業局、及び独立した食品安全コンサルタントと緊密に連携して徹底的な調査を行い、食品安全体制を強化するための是正措置と予防管理を実施したと付け加えた。

FDAは、措置をクラス I に引き上げると発表していた。この分類は、製品の使用や製品への曝露が深刻な健康被害や死亡を引き起こす「合理的な可能性」があることを意味する。

同社は通常の検査の中で、その製品が細菌に関して陽性であったとの結果を受け取った。措置に関する報告書によると、そのブルーベリーはノースカロライナ州の1件の取引先に出荷された。自主回収に関するプレスリリースは出されなかった。

CDC(米国の疾病予防管理センター)によると、リステリア菌によって引き起こされるリステリア症は、米国の食中毒による死亡原因の中で3番目に多い。CDCは、毎年1,600人がリステリア菌に感染し、260人がそれによって死亡していると推定している。

自主回収に関する質問や懸念はFDAまで(連絡先省略)

この記事は、自主回収に関するアルマパック社の声明を含むよう2025年7月4日に更新された。

執筆者: アイリーン・ロドリゲス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨または批判するものではありません。)

(関連記事)米国 リステリア菌関連の冷凍ブルーベリーは小売前に回収

[FreshFruitPortal](#) 2025年7月4日

ジョージア州を拠点とするブルーベリー栽培・販売会社であるアルマパックインターナショナル社は、リステリア菌による汚染の可能性があるため同社が最近自主的に回収した冷凍有機ブルーベリーは、すべて小売市場に届く前に回収されたとしている。

同社は声明で、「対象となる冷凍品は、小売市場に届く前に完全に回収された。その結果、消費者に販売された製品はなく、公衆衛生へのリスクはなかった」と述べている。

同社は、米国食品医薬品局(FDA)、ジョージア州農業局、及び独立した食品安全コンサルタントと緊密に協力して調査を行い、食品安全システムを強化するための是正措置と予防管理を既に実施したとしている。

同社はまた、この事案を受けて、媒介要因に関する厳重なサンプリング検査が行われ、「この強化されたモニタリングの過程で収集されたすべてのサンプルは、リステリア菌検査で陰性であり、食品安全対策の有効性が確認された」としている。

同社は、「弊社は、最高水準の食品の安全性、透明性、継続的な改善、及び取引先と連携企業の信頼の維持に引き続き真摯に取り組む」としている。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨または批判するものではありません。)